

令和6年第5回北栄町議会定例会
一般質問 質問事項一覧

	質問者	質問事項	質問の相手
1	3番 井川 敦雄	高齢者の支援策について	町 長
		がん検診受診率向上について	町 長
		熱中症対策について	町 長 教 育 長
2	8番 油本 朋也	北条砂丘地域の近未来	町 長
3	6番 奥田 伸行	小中学校の体力・運動能力・運動習慣について	教 育 長
4	4番 蓑原 美百合	命と健康を守るための熱中症対策について	町 長 教 育 長
		喫緊の課題である買い物弱者支援について	町 長
5	1番 中山 功一	宅配ボックス設置について	町 長
		企業誘致に向けた高速通信サービスの拡充について	町 長
		介護施設の在り方について	町 長
		北条小学校前の建物について	教 育 長
6	13番 長谷川 昭二	体育館への空調設置について	町 長 教 育 長
		ジェンダー平等の取り組みについて	町 長
7	9番 齊尾 智弘	困難を抱える子ども・若者への支援について	町 長 教 育 長
		環境保全型農業について	町 長
		親元で新規に就農する者への支援について	町 長
		緊急時の農作業支援について	町 長
8	7番 秋山 修	財政の現状と今後の予測	町 長
9	2番 河本 文哉	公式LINEについて	町 長
10	14番 阪本 和俊	青山剛昌ふるさと館の新築移転の取組について	町 長
	計 10人	計 20 問	

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-1番
 令和 6年 4月15日
 午前 8時30分 受領

令和6年4月14日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 井川 敦雄 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
高齢者の支援策について	<p>全国的にも少子高齢化が進み、ますます高齢者が増加していく状況となっている中で、高齢者の生活支援等様々な課題があると考え次のことを伺う。</p> <p>①本町における65歳以上、75歳以上の人口割合について</p> <p>②国民年金だけで生活をされている方もあると思う。国民年金受給者の現状という点で、受給者数と受給額について</p> <p>③高齢者の貧困問題に対する支援策について</p> <p>④高齢者医療費及び介護給付費の現状について</p> <p>⑤健康で医療費のかからない高齢者に対する報奨制度について</p> <p>⑥健康増進の取組について</p>	町 長
がん検診受診率向上について	<p>生涯のうち日本人の2人に1人がかかるとされているがんについて「第4期がん対策推進基本計画（厚生労働省健康局がん・疾病対策課）」では、全体目標として「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」と掲げられている。</p> <p>がん予防では、がんで亡くなる人を減らすため、国の指針に基づく5つのがん検診について受診率60%をめざすとされている。</p> <p>そのため、北栄町でもがん検診の受診者をいかに増やすかが重要であると考え次のことを伺う。</p> <p>①本町の検診の対象者と案内方法について</p> <p>②受診勧奨の効果について</p> <p>③受診をされない人や申し込んだが来ない人への勧奨・再勧奨について</p>	町 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>熱中症対策について</p>	<p>④1種類だけ申し込んだ人に他の検診も勧めることについて</p> <p>⑤受診したときに、次年度受診の意向調査をすることについて</p> <p>気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者は増加傾向が続いており、近年では年間1,000人を超える年が続くなど、自然災害による死亡者数をはるかに上回っている。また、今後も地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれる。</p> <p>そこで、熱中症予防を強化する取組が必要と考え次のことを伺う。</p> <p>①本町の熱中症対策について</p> <p>②高齢者の熱中症に対する予防意識を高める取組、特に高齢者だけの世帯に対する取組について</p> <p>③経済的にエアコンの使用を控えざるをえない世帯への支援について</p> <p>④学校・こども園などでの子どもたちの熱中症対策について</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-2番
 令和 6年 4月17日
 午前 8時51分 受領

令和6年4月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 油本 朋也 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
北条砂丘地域の近未来	<p>再整備事業が結実しリニューアルオープンまで一年を切った道の駅と、令和8年度に開通予定の待ち望まれた山陰道。北条川放水路工事による地盤沈下も収束に近づき安堵の一方で、巨大風力発電設備建設計画に加え町営風車の民間事業者への譲渡案の急浮上と話題を集めるこの地域。</p> <p>今後数年で、この一帯は岡山県方面への南北の軸と県の東西を結ぶ山陰道の開通で生まれる高速道路網で県中央の重要な結節点となり、観光・物流・企業活動や人々の交流に新たな流れを生むと新聞でも報道され、さらに道の駅は県から広域防災拠点に指定され、災害時や救急医療の対応にも効果が期待される。</p> <p>人・物・カネを呼び込むことに成功するか、逆に圏域外へそれらの流出を促す結果を招き大きな飛躍の機会を逃すのか。来春開業の「道の駅ほうじょう」や令和9年新築移転完了予定の「青山剛昌ふるさと館」の注目事業に加え、道路インフラの機能向上で県央でのリーダーシップを期待される北栄町の潜在能力を再認識するため、今回はこのエリアの近未来のビジョンに関し、以下の点を中心に伺う。</p> <p>①道の駅ほうじょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で明らかになっている総事業費と町の負担総額、及び町への経済効果の予測。 ・近隣住民との接点の構築と地元商圈内の固定客の開拓、及び関係人口の創出策。 ・「道の駅大栄」との共存。 ・自動車専用道路から、通過点にならず下りてきてもらう工夫。 ・道の駅独自の魅力を発信し、人・物・カネが集り 	町長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>続ける仕掛け。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年3月に開館予定の県立美術館を利用した集客の手段。 ・県が計画している広域防災拠点としての事業概要、及び具体的機能と現在の進捗状況。 ・広域防災拠点として今後整備される施設及び用地の、町へのメリット・デメリットの想定。 <p>②風力発電事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J R 東日本エネルギー開発株式会社（以下 J E D）の昨年春の方法書縦覧及び住民説明会から現在までの具体的動向、及びその後事業者から提供された新たな情報。 ・設置が計画される場所は、南北の幅は新設される山陰道から海岸線、かつ東西の距離は5号機から西園までの極めて狭い範囲。その限られたエリア内に譲渡が検討されている耐用年数の経過した現行の103.5mの風車5基と、J E Dが計画する180m級の巨大風車5～7基の混在により惹き起こされる住民生活への不安、自然環境への負荷、動植物への影響、及び景観への懸念。 ・町営の風車に関し過去何度も明言していた全基撤去から一転し、1～5号機の譲渡が現実となった際の予測される町の利益と損失。 ・解体撤去されない予定の5号機が与える付近のリニューアルオープンされる道の駅、及び一般廃棄物最終処分場埋立地の今後の利活用への影響。 ・陸上巨大風車建設への住民の反対運動活発化や、新設を計画していた事業者の撤退が各地で相次いでいる事態の現状把握と実態の認識。 ・計画通り巨大風車が建設された北栄町、及び県中部の近未来像。 	

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-4番
 令和 6年 5月13日
 午前 8時30分 受領

令和6年5月12日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 蓼原 美百合 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
命と健康を守るための熱中症対策について	<p>日本気象協会によると、今年の夏は地球温暖化やエルニーニョ現象の影響で地球の大気全体の気温が高くなっていることから、太平洋高気圧が強まれば、昨年に匹敵するような猛暑になる可能性があるかと予想しています。</p> <p>昨年の5月1日から10月1日の間、県内で熱中症により救急搬送された方は633人。そのうち高齢者が半数以上となっています。亡くなられた方は3名でした。救急搬送の件数も年々増加傾向となっています。</p> <p>熱中症は適切な予防や対処が実施されれば防ぐことができると言われています。</p> <p>そこで、令和5年5月に閣議決定された「熱中症対策実行計画」に沿って、町の取り組みについて伺います。</p> <p>①高齢者の熱中症対策はどのように取り組まれるのか。</p> <p>また、高齢者のみの世帯で、クーラーの未設置状況は把握されているか。未設置の世帯に対して、クーラー購入補助をしてはどうか。</p> <p>②学校現場における熱中症対策はどのように取り組まれるのか。</p> <p>③小学校登下校におけるスクールバスの利用範囲を拡大してはどうか。</p> <p>④早い時間に水筒の飲料を飲み干してしまう場合もあり、部活動時間もあるので、中学校体育館に冷水機の設置又は衛生面と塩分・ミネラル補給するためにも自動販売機（熱中症対策のための商品に限定）の設置をしてはどうか。</p> <p>⑤農業者に対する熱中症の注意喚起、情報提供はど</p>	町 長 教 育 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>喫緊の課題である 買い物弱者支援について</p>	<p>のように取り組まれているのか。</p> <p>⑥暑さをしのぐ場所・施設として指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定の取り組み状況は。</p> <p>⑦エアコン未設置の避難所への災害時における迅速なエアコン供給について支援を行うとあります。小中学校の体育館にエアコンを設置してはどうか。</p> <p>地域の過疎化や高齢化、健康状態の悪化により買い物が困難な状況にある人々、買い物弱者が増えています。</p> <p>町としてはタクシー利用料助成事業をされていますが、根本的な解決策とは言えません。</p> <p>買い物、特に生鮮3品（青果、精肉、鮮魚）と惣菜などの食料が入手できない状況では、健康上の問題も招きやすく、また、高齢者世帯では外出の頻度が減少し、生きがいにも影響を与える可能性があります。総務省も「良好な買物環境は、日常の生活の基盤であり、地域で生活を営む上で不可欠なものである」としています。</p> <p>町の将来ビジョンの1つ、持続可能かつ快適・安全に暮らせるまちになるために伺います。</p> <p>経済産業省の買い物弱者対策への取り組み分類に、「身近な場所にお店をつくろう」があります。高齢者が商品を手に入れるためだけでなく、見守り、地域のコミュニケーションの場となるものが必要と考えます。</p> <p>①「鳥取県買物環境確保推進交付金」を活用し、早期に対応できる取り組みとして、現在ある「移動販売」の拡大活用と支援をしてはどうか。</p> <p>また、新たに移動販売車の導入の支援、地域拠点施設への店舗機能を付加する取り組みをしてはどうか。</p> <p>②町のマイクロバス等を利用し、予約制の町内外の店への買い物ツアーの取り組みをしてはどうか。</p>	<p>町 長</p>

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-5番
 令和 6年 5月17日
 午前 8時30分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 中山 功一 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
宅配ボックス設置について	<p>北栄町では、2050年までにゼロカーボンを目指して様々な取り組みを進めている。物流においては、2024年問題が大きくクローズアップされてきている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>①2050年北栄町脱炭素ロードマップにおける運輸部門には「宅配業者によるCO₂排出量」は含まれているか。</p> <p>②置き配・宅配ボックス設置により再配達が減る。宅配ボックス、宅配ロッカーの設置は北栄町脱炭素ロードマップの推進にもつながると思うが、見解を伺う。</p> <p>③家庭に宅配ボックスを設置することへの助成を行うことで、設置の推進につながると予想されるがいかがか。</p> <p>④宅配ロッカーを通勤経路にあたる主要な場所（駅や、スーパーの一部など）に設置してはどうか。</p>	町長
企業誘致に向けた高速通信サービスの拡充について	<p>企業誘致に向け、今年度は動きが活発化すると感じている。今の時代の企業誘致において、通信インフラの整備は必須である。以下の点について伺う。</p> <p>①北栄町において高速通信を提供している事業者はいくつあるか。</p> <p>②交通インフラは整いつつあるが、企業を誘致する場合、現在の電力インフラや通信インフラは企業のニーズを満たすのに十分か。</p> <p>③地方の特性を生かしつつ、中央と遜色ない仕事を行うためには、通信インフラが必須である。ということは、若い人材をこの地に留める、あるいは</p>	町長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
介護施設の在り方について	<p>移住につなげるために、また産業の発展のためにも重要な課題であると考えているが、見解を伺う。</p> <p>北条地区にあった「なごみの郷」が3月いっぱい閉じた。以下の点について伺う。</p> <p>①閉所に至った経緯は。</p> <p>②なごみの郷の利用対象者は北栄町の北条地区にお住まいの方となっていたが、これらの方々は、どこで介護サービスを受けているのか。</p> <p>③なごみの郷は小規模多機能型居宅介護施設に分類されていた。24時間365日対応し、住み慣れた家や地域で安心して生活できるようにするものである。これからの介護サービスの中心に据えるべきものと考えているが、町の方針はどうなっているのか。</p> <p>④今後、北条地区に類似施設を新設する考えはあるか。</p>	町 長
北条小学校前の建物について	<p>以前から、北条小学校校門向かいの建物の様子が気になっている。居住者はおらず、瓦は落ちている部分があり、近年ではガラスが割れたままとなっている。以下の点について伺う。</p> <p>①北条小学校校門前の建物の現状の把握はしているか。</p> <p>②「割れ窓理論」からすると、現状は教育上良い状態にあるとはいえない。子どもたちの心を育てるうえで悪影響を及ぼしていると考えているが、見解を伺う。</p> <p>③子どもたちを健全に育成するという立場から、今後この状況をどのようにするのか。具体的な対策を伺う。</p>	教 育 長

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-6番
 令和 6年 5月17日
 午前10時25分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 長谷川 昭二 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
体育館への空調設置について	いま、学校体育館への空調設置が、児童・生徒の熱中症対策や、避難所の環境改善の観点から求められています。本町の対応について伺います。	町 長 教 育 長
ジェンダー平等の取り組みについて	<p>日本は、国連において「女性差別撤廃条約」が採択されて以降 20 年以上も検討したまま、批准をしていません。男女平等の達成度を表すジェンダーギャップ指数 2023 年版が発表されましたが、日本は 146 カ国中 80 位で、達成度は 64.5 パーセントです。日本の達成度はこの 17 年間ほとんど変わっていません。こうした状況から、ジェンダー平等についての町長の所見を伺います。</p> <p>大企業社員及び公務員男女賃金格差が公表されました。男女賃金格差の公表は、ジェンダー平等を進める第一歩です。本町における職員の男女の賃金格差の公表と是正の取り組みについて伺います。</p>	町 長

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-7番
 令和 6年 5月17日
 午前10時47分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 齊尾 智弘 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
困難を抱える子ども・若者への支援について	<p>子ども・若者育成支援推進法が2009年7月に制定された。困難を抱える子ども・若者への支援を総合的に行う枠組みを整備し、地域ネットワークづくりを進めるためである。自治体は地域計画を策定し、その立案、実行する要として「若者支援地域協議会」と「子ども・若者総合相談センター」を設置することになっている。</p> <p>①若者支援地域協議会と若者総合相談センターの設置状況を伺う。</p> <p>②本町の不登校児童・生徒は増え続けているが、学校を形式卒業者となった学生（若者）を把握し、就職するまで伴奏型で支援していく仕組みが必要と思うが見解を伺う。</p> <p>③形式卒業者となった学生（若者）の学び直しが難しいと言われているが見解を伺う。</p> <p>④形式卒業の若者たちが安心して過ごせたり、仲間をつくれる居場所が少ないと言われているが見解を伺う。</p>	町 長 教 育 長
環境保全型農業について	<p>1992年農林水産省は「新しい食料・農業・農村政策」の中で、環境に配慮した農業の必要性を初めて指摘した。農地1ヘクタール当たりの国別農薬使用量（国連食糧農業機関の調べ）では日本の農薬使用量は欧米各国と比べて多く、農地1ヘクタール当たり11.84キログラムに上っている。このため農水省はみどりの食料システム戦略を2021年に策定。2050年までに農薬の使用量を50%減らすことや化学肥料を30%減らす目標を掲げるとともに、有機農業を耕地面積の25%まで増やすことを目指してい</p>	町 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
親元で新規に就農する者への支援について	<p>る。</p> <p>①環境保全型農業が今なぜ求められるのか伺う。</p> <p>②環境保全型農業を進めるためのポイントと、普及にむけた課題を伺う。</p> <p>③環境保全型農業に取り組むとどのような行政の支援があるのか伺う。</p> <p>④普及には支援の拡充が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>子や孫が親の経営に従事しながら親元で行う就農研修に対し、親元就農交付金がある。親が元気なときから子や孫に担い手となってもらい、経営継承を進めるのが目的である。また、一時的な収入低下なども補っている。この交付金を見込み他業種から新規就農した後で、親の病気が判明し交付金を受けられなかったケースがある。新規就農でありながら支援が届いていないのである。何らかの方法で支援すべきである。このことについて伺う。</p>	町 長
緊急時の農作業支援について	<p>両親が亡くなり一人で農業を営んでいた農業者が、ある日突然病に倒れ、それまでやってきた仕掛けを含めた農作業が出来ない状態になってしまうケースが発生した。今後もこのようなケースは発生すると思われる。農業者が投資をして、今まで仕掛けてきた作業が無駄にならないような支援を考えるとときがきていると思うが対策を伺う。</p>	町 長

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-8番
令和 6年 5月17日
午前11時23分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 秋山 修 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
財政の現状と今後の予測	<p>①経常収支比率の、合併からの推移と現状、および今後の予測を伺う。</p> <p>②道の駅ほうじょうのリニューアル、青山剛昌ふるさと館の移転新築の取組みに、地方債借入と基金取崩しをいくら予定しているか、またその後の経常的支出額、経常収支比率の影響を伺う。</p> <p>③公共施設等総合計画および個別計画を、今後の財政運営にどのように生かしていくか伺う。</p> <p>④一般会計から特別会計、公営企業会計への繰出金の今後の見込みを伺う。</p> <p>⑤令和4年度国の統一的な基準に基づく財務書類（財務4表及び固定資産台帳）の分析結果を伺う。</p>	町 長

議長	局長	回議	主査

受付番号	6定-9番
令和 6年	5月17日
午後 1時	9分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 _____ 河本 文哉 _____ 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
公式LINEについて	<p>北栄町では、まちづくりビジョンにもデジタル化の取り組みが盛り込まれ、住民生活や仕事の質、価値の向上を目指しております。デジタル化による効率化や利便性が高まれば、経済的にも時間的にもコストの削減になり、生産性も上がり人手不足の解消にもつながります。</p> <p>そこで、まず取り組むべきは公式LINEを使った住民・地元企業とのコミュニケーション強化、行政手続きの簡便化ではないかと思えます。自治体への公式LINEアカウントの無料提供により、全国的にも自治体の導入は急激に進んでおり、直近では7割近くが活用しています。同時にホームページの改善が必要ですが、利便性が良くなれば次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政手続きのオンライン申請 ・ 公民館や体育館など公共施設のオンライン予約 ・ 朝の放送を文字と音声でアーカイブ ・ よくある質問、Q&A ・ コメントやアイディア、アンケートなど、住民が参加できる投稿システム ・ 配布する印刷物の量を削減 ・ イベント情報、施設の利用案内などのお知らせ、カレンダー機能 ・ 通知設定で関心のある情報を受信 ・ 災害や緊急事態時の防災速報 ・ 情報への反応率、フォロワーの推移など、データ分析による評価と改善 <p>もう一つは、町外や海外の方へのマーケティングとして、観光情報やふるさと納税への誘導などにも効果的に活用出来ると思えます。</p>	町 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>AIの進歩やブロックチェーンの普及など、最近の技術革新はスピードも早く数年後の予測は難しいですが、今の時点で出来ることの第一歩として公式LINEの導入とホームページの改善が必要であると考えます。</p> <p>以上を踏まえて、町としての意向を伺います。</p>	

議長	局長	回議	主査

受付番号 6定-10番
 令和 6年 5月17日
 午後 3時 5分 受領

令和6年5月17日

北栄町議会議長 野田 秀樹 様

北栄町議会議員 阪本 和俊 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
青山剛昌ふるさと館の新築移転の取組について	<p>新築移転の議論が始まった際、私は一般質問で、コナンによる経済効果が40億円（数年前には100億円）とネットで公開されていましたが、そのうち北栄町にどれだけの経済効果があったのか県に聞いてみてほしいと要求しました。しかし、執行部は何も答えていません。</p> <p>今年の大連休の集客は、賑やかでコナン人気の凄さを改めて実感することが出来ました。よく水木しげるロードと比較されますが、水木しげるロードの人出は22万1743人で、4月にリニューアルオープンした水木しげる記念館には1万9409人が訪れています。青山剛昌ふるさと館は1万8325人で昨年比24.4%増えたようです。2019年度の青山剛昌ふるさと館の入館者数は21万9811人で過去最高でした。</p> <p>私は、連休中由良の町に毎日のように行ってみました。JR由良駅（コナン駅）から道の駅大栄間は大勢の人達が歩いていましたが、他の道路は観光客の歩く姿は見え、限りなくゼロ人に等しいと思いました。実際に地元の人達に聞いても「誰も来ん」と話をしていました。地元の経済効果は殆ど期待出来ない実態を、青山剛昌ふるさと館再整備検討会の委員さんや町の担当職員は把握されているのか伺います。</p> <p>再整備の事業規模や予算規模を見直しませんかと執行部に尋ねたことがありますが、他県のハード事業は人件費や資材費の高騰を受けて見直しをしています。今からでも見直すべきだと思いますが、町長の所見を伺います。出来ないとするならばその理由をお聞きしたいです。</p>	町長